

令和6年度 第1回 初生小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年4月23日（火）10時00分から11時40分まで
- 2 開催場所 初生小学校 調べ学習室
- 3 出席委員 上乘 菜穂子、金原 正人、猿田 金昭、山本 福次郎、関 美奈子
柴田 宏祐、山崎 晋司、辻村 拓磨、猪野 久美子
- 4 欠席委員 なし
- 5 学 校 村松 健史（校長）、長坂 麻里子（教頭）、岩佐 好純（主幹）、
田中 由紀子（CSディレクター）
- 6 教育委員会 牧野 知子（教育総務課）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 田中 由紀子
- 9 議長の選出
前回の協議会において、議長の選出について意見を求めたところ、上乘会長が議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。
- 10 前回議事録確認
- 11 熟議
 - (1) 令和6年度学校運営の基本方針について
 - (2) 夢育やらまいか事業に対する意見書について
 - (3) ボランティア募集について
- 12 会議記録
司会の岩佐から、委員総数9人のうち9人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 令和6年度学校運営の基本方針について

議長の指示により、村松校長から、別紙資料に基づき学校運営方針及びいじめ防止基本方針について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ 子供同士の SNS 上でのトラブルの報告もあると言われたが、保護者からなのか、児童からなのか。（上乘委員）
- ・ スマホの使い方等の指導は、学校で行っているのか。（上乘委員）
- ・ いじめの定義は児童へ説明しているのか。（山崎委員）
→6月にある「いのちの日」に校長から、いのちの大切さを説明する中で児童へわかりやすい言葉で伝えている。（村松校長）
- ・ 定義では、受けた側の気持ちが大事になっている。子供たちはその事を理解しているのか。（山崎委員）
- ・ 自分がやられて傷つくような事は、相手にはやらない。気持ちを強く持てる、切り替える事ができる子供を育てるのも必要ではないか。（上乘委員）
- ・ 1回だけの発言で、いじめと認定されるのはおかしいのではないか。継続しての発言ならわかるが。（山本委員）

- ・親も自分の子供の話だけを信じるのではなく、相手はどうしてこういう発言をしたのかという、家庭での会話も必要ではないか。(金原委員)

(2) 夢育やらまいか事業にたいする意見書について

議長の指示により、磯部教頭から、別紙資料に基づき説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・夢育事業とは異なるが、子供を支援する大人の関わりとして、今年度のPTA会員数はどれくらいか。(山本委員)
- ・6割ぐらいが加入数である。PTAとしては清掃活動・資源物回収・旗振り当番の3つの活動を行っている。(辻村委員)

(3) ボランティア募集について

議長の指示により、岩佐主幹からボランティア募集についての報告があり、委員からは以下の発言があった。

- ・ボランティア募集をした後、活動の窓口はどこになるのか。(山本委員)
- ・読み聞かせボランティアの募集方法は、チラシ印刷と保護者への配布は学校へお願いして、興味のある方は、QRコードからおはなしポケット連絡フォームにアクセスしてもらうようにした。気軽に登録出来てよいという声をいただいた。(猪野委員)
- ・個人情報の扱いをどうすればよいのか。(金原委員)
- ・はつおい応援団という団体を立ち上げて動いていけばよいのではないか。(山崎委員)
- ・学校側の具体的なニーズを教えてほしい。(山崎委員)
- ・ゆくゆくは、PTAを解体して、応援団に移行するという方法もあるのではないか。(辻村委員)

協議の結果、全員異議なくこれらすべてを承認した。

13 その他連絡事項等

- ・司会から、次回会議は、令和6年7月2日(火)午前10時00分から調べ学習室で開催することが確認された。
- ・司会から、次回の議長の選出について委員に意見を求めたところ、金原委員が議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。